

## 令和5年4月16日（日）第9回はこでみペアレントトレーニング

9回目の今回は、「効果的な指示の出し方のコツ」をテーマに講義とグループワークを行いました。

4月に入り、子どもたちは進級・進学し、新しい学年、新しいクラスメイト、そして新しい担任の先生のもと今期の学校生活をスタートさせました。

新クラスが始まり、子どもたちも保護者の皆さんも期待と不安の入り交じった毎日を過ごしています。

そこで、前回に引き続き今回もペアトレの本題に入る前に「学校や担任との連携」をテーマに保護者同士で今までの経験談や我が子に必要な支援などを話し合い、様々な情報を共有していききました。今期の1年を親子にとって有意義な1年にするためには、学校や担任との連携が必要不可欠です。

保護者同士で様々な気持ちや情報を共有することで、我が子への関わり方や学校・担任との連携方法の視点やバリエーションなどが増え、前向きに連携を進めることができるようになります。

その後、今回のペアトレのテーマである「効果的な指示の出し方のコツ」について学んでいきました。

保護者にとって我が子が毎回時間を守らなかったり同じ失敗を繰り返したりすると、どうしても感情的に怒ったり頭ごなしに注意したりしがちです。

保護者は我が子のために必死です。そして、子どもたちも毎日の生活を必死に頑張っています。お互いに悪気は全くありません。

しかし、感情的や否定的なやりとりが続くとお互いに誤解が生じ、本来の目的から離れ、親子関係の悪化という逆効果につながってしまいます。

そこで、今回は「効果的な指示の出し方」のコツやポイントを具体的にお伝えし、それぞれの親子に合った指示の出し方を見つけていきました。

子どものペースに合わせ、事前予告する 選択肢を与える 子どもにメリットを与える 穏やかに近づいて伝える などのポイントを押さえた指示を心がけると、子どもの意識や意欲を高める効果があります。

今回参加された保護者の皆さんも自分の指示の出し方をグループワークを通して振り返り、より我が子に合った「効果的な指示の出し方」を見つけていました。



### 参加者の感想

- 「ほめる・待つはとても難しいです。今日から頑張ります！」
- 「指示を出す際に気を付けるポイントがよく分かりました。」
- 「上の子だけでなく下の子の関わりにも参考になります。」
- 「生活に合わせたシュミレーションが頭の中で出来ました。」